

第3章 環境への負荷が少ない循環型社会の実現

第1節 3Rの推進

1 3R活動の普及啓発

(1) 環境にやさしい買い物キャンペーンの実施

「買い物」を通して地球環境や廃棄物などの環境問題を考え、環境に配慮したライフスタイルの実践を促進するために、マイバッグの持参や環境に配慮した商品の販売・購入、簡易包装の促進等を内容とする「環境にやさしい買い物キャンペーン」を3R推進月間（10月）に実施し、資源の節約とゴミの減量化や家庭の省エネ意識の高揚を図った。

【参加事業者数】百貨店、スーパーマーケット、ホームセンター等 38事業者（301店舗）

商店街振興組合 7組合

(2) おいしい食べきり運動の実施

売れ残りや食べ残し、調理くずなど、本来食べられるにもかかわらず、捨てられる食品、いわゆる食品ロスが、約646万トン（農林水産省・環境省平成27年度推計）発生しており、世界全体の食料援助量（平成27年約320万t）の約2倍を捨てている計算になる。

食品ロスの削減は、循環型社会や低炭素社会の実現を図るとともに、愛媛が誇る豊かな海の幸山の幸などの食材を無駄にしないためにも、食品関連事業者はもとより、消費者、行政が一体となって取り組むべき重要な課題であり、29年度から本格的な対策を開始し、県民総参加による運動を展開している。

○愛媛県食品ロス削減推進協議会の設置・運営

平成29年5月に、20市町、（一社）愛媛県食品衛生協会、庁内関係7課を構成員とする協議会を新たに設置して会議を開催（2回）し、関係者間の情報交換等を図った。

○おいしい食べきり運動推進店モデル事業

リサイクル率の低い外食産業をターゲットに、各店舗で消費者と協働して、ハーフサイズや小盛メニューの設定、食べきりの呼び掛け等を行う「食べ残しゼロキャンペーン」を実施した。

・期間、登録店舗数：平成29年8月～9月（2月間）、62店舗（県内9市2町）

○食品ロス削減アイデアの募集

食品ロス削減のためのアイデアを県民から募集し、優秀アイデア3作品を表彰した。

・募集期間：平成29年7月～9月

・応募状況：115作品（101名）

・優秀アイデア賞3作品：

「クリーンアップフライデー」

「消費期限」「賞味期限」を正しく理解しよう！」

「短距離専門ランナー（消費期限の短い魚）をマラソン選手に改造！」

○おいしい食べきりキャンペーン

全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会との全国共同キャンペーンとして、忘・新年会の宴会時において食べきりを啓発するため、関係機関や飲食店、商工団体等へチラシの配布や県HP、広報番組等での周知及び街頭啓発キャンペーンを実施した。

・実施期間：平成29年12月～平成30年1月（2月間）

2 リデュース・リユース・リサイクルの推進

(1) 使用済自動車の再資源化の推進

使用済自動車の再資源化等に関する法律（自動車リサイクル法）に基づき、使用済自動車の引取り又はフロン類の回収について、各保健所において関連事業者の登録・許可及び指導を行った。

表2-3-1 自動車リサイクル法関連事業者の登録・許可状況

（平成30年3月31日現在）

区分 保健所	登録業者数		許可業者数		
	引取業	フロン類 回収業	解体業	破砕業	
				破砕前処理	破砕処理
西条	128	40	19	11	0
今治	56	24	16	4	0
中予	34	7	5	3	0
八幡浜	123	19	3	2	0
宇和島	74	14	9	3	0
複数保健所管	21	5	0	0	0
県計	436	109	52	23	0

※松山市所管分は含まない

(2) 製紙汚泥の発生抑制等の促進支援

国のエコタウン事業として平成18年1月に承認を受けた「愛媛エコタウンプラン」の一層の具体化を図るため、中核事業に位置付けた「製紙スラッジのゼロエミッション」についての事業化や施設整備に向けた取組を促進するため、「紙産業資源循環促進支援事業」を実施した。

① 工業会会員企業の実績に対する支援事業（間接補助）

公益社団法人愛媛県紙パルプ工業会が会員企業を対象に行う、製紙スラッジ焼却灰の発生抑制や有効利用等を促進するための研究・開発等事業及び技術・設備導入事業に要する経費の一部を助成する事業について、県は、工業会に補助を行った。

○補助率等：10/10（補助限度額：26,047千円）

【工業会の助成事業の概要】

- ・補助率等：研究・開発等事業 大企業1/2以内、中小企業3/4以内
技術・設備導入事業 1/3以内
- ・補助事業者：2社（3件）

② **工業会が取り組む調査研究事業に対する支援事業（直接補助）**

工業会自らが取り組む、製紙スラッジ焼却灰等産業廃棄物の発生抑制や有効利用等を促進するための研究・開発事業について、県は、工業会に対し補助を行った。

○補助率等：3/4（補助限度額：5,000千円）

【工業会の調査研究事業の概要】

製紙スラッジ焼却灰の有効利用等を図るため、「製紙スラッジ焼却灰を活用した塗工材料の開発」について調査研究を実施

(3) **廃棄物の再資源化に関する研究開発等の支援**

県内産業廃棄物処理業者の循環型社会の構築に向けた取組を促進するため、「資源循環技術等研究開発事業」の調査結果等に基づき、一般社団法人えひめ産業廃棄物協会が中心となって取り組む地域の廃棄物等の3R（発生抑制・再利用・再生利用）を促進するため、「産業廃棄物処理業資源循環促進支援事業」を実施した。

① **産廃協会会員の取組に対する支援事業（間接補助）**

一般社団法人えひめ産廃協会が会員を対象に行う地域の廃棄物等の3Rの促進に関する研究・開発及び機器整備、廃棄物等の発生抑制や減量化などの3Rを実現する技術・設備の導入に要する経費の一部を助成する事業について、県は、同協会に対し補助を行った。

補助率等：10/10

【産廃協会の助成事業の概要】

- ・補助率等：研究・開発等事業 3/4以内
技術・設備導入事業 1/3以内
- ・補助事業者：3件

② **産廃協会が取り組む調査研究事業に対する支援事業（直接補助）**

産廃協会自らが取り組む、日々進展し、高度化する産業廃棄物のリサイクルシステムや、温暖化対策、エネルギー革命等に即応した新たな再資源化技術等の調査研究事業について、県は、同協会に対し補助を行った。

補助率等：3/4

【産廃協会の調査研究事業の概要】

会員の事業化を支援するために必要となる最新の再資源化システムや温暖化対策等について、調査研究を実施した。